

8B92

BSJ8B92-2109

セイコーウオッチ株式会社

# SEIKO

## 取扱説明書

### I N S T R U C T I O N S

8B92 ソーラー電波 ワールドタイムクロノグラフ

## C-20

この度は弊社製品をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。  
なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

目次	
1. この製品について	受信範囲のめやす：アメリカ（WWVB）…23
製品取扱上のご注意 …… 4	受信範囲のめやす：ドイツ（DCF77）…24
ご使用にあたって …… 8	受信しやすくするために ……25
特 長 ……10	受信しにくい環境 ……26
各部の名称と主なはたらき ……12	受信ができていないか確認する ……28
ボタンについて ……14	受信結果表示について ……28
りゅうずについて ……15	4. ソーラー充電機能について
2. ご使用の前に	充電について ……30
ご使用の前に ……16	充電のしかた ……30
エネルギー残量を確認する ……16	充電にかかる時間のめやす ……31
時刻・日付を確認する ……17	エネルギーについて ……32
3. 時刻の合わせかた（電波受信）	エネルギー切れ予告機能について ……32
電波を受信して時刻・日付を合わせる ……18	パワーセーブ機能について ……33
電波受信のしくみ ……18	5. ワールドタイム機能について
自動受信と強制受信 ……19	ワールドタイム機能の使いかた ……34
受信環境について ……20	ワールドタイム機能の特長 ……34
受信範囲のめやす ……20	タイムゾーンを選択する
受信範囲のめやす：日本（JJY）…21	（世界各地域の時刻を表示する）…36
受信範囲のめやす：中国（BPC）…22	タイムゾーン表示と時差一覧 ……38

タイムゾーンと時差について ……40
ワールドタイム機能 Q&A ……41
6. ストップウォッチ機能について
ストップウォッチ機能について ……42
ストップウォッチ機能部の名称とはたらき ……43
ストップウォッチご使用前の確認 ……44
ストップウォッチの使いかた ……45
ストップウォッチのリセットのしかた ……48
タキメーター（TACHYMETER）の使いかた ……50
7. ご注意いただきたいこと
お手入れについて ……52
性能と型式について ……53
防水性能について ……54
耐磁性能について（磁気の影響）…56
バンドについて ……58
皮革/バンド用三折れ式中留（なかどめ）の使いかた ……60
ルミブライトについて ……65
使用電源について ……66
アフターサービスについて ……68
8. 困ったときは
強制受信のしかた（手動で電波を受信する）…70

電波の受信ができないとき ……73
手動時刻合わせのしかた ……74
手動日付合わせのしかた ……76
基準位置について ……78
針位置自動修正機能（時分秒針の基準位置合わせ）…78
日付・ストップウォッチ針の基準位置合わせ ……78
身のまわりにある磁気を発するもの ……79
基準位置の合わせかた ……80
日付・時分針の基準位置を合わせる ……80
ストップウォッチ針（秒・分）の 基準位置を合わせる ……84
こんなときには ……88
万が一、異常な動きになったとき ……96
システムリセットをする ……96
ストップウォッチ針を「0」に合わせる ……97
日付を「1」（1日）に合わせる ……100
タイムゾーンを設定する ……101
時刻を合わせる ……103
9. 製品仕様
製品仕様 ……104

1

製品取扱上のご注意

警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・ 次のような場合、ご使用を中止してください

○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合

○バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐ、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・ 乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。

万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

・ 時計から二次電池を取り出さないでください

※ 二次電池について → 使用電源について P.66

二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。

一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。

注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・ 以下の場所での携帯・保管は避けてください

○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）

○5℃～35℃を外れる温度に長期間なところ

○高湿度なところ

○磁気や静電気の影響があるところ

○ホコリの多いところ

○強い振動のあるところ

・ アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・ その他のご注意

○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。

手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。

○商品の分解・改造はしないでください。

○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。

けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

○使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。

○提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。

衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

## ⚠ 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

## ⚠ 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

## ご使用にあたって

## ■ 充電を心がけましょう

この時計は文字板で受けた光を電気エネルギーに換え、電気を蓄えながら動いています。エネルギー残量が少ないと正常に動きません。  
光のあたるところに置く・保管するなど、日常的に十分な充電を心がけましょう。

## ■ エネルギー残量は小秒針の動きで確認することができます

→ エネルギー残量を確認する P.16

## ■ ソーラー充電について

→ 充電のしかた P.30

→ 充電にかかる時間のめやす P.31

## ⚠ 注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。  
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

## ■ 電波を受信するために

この時計は毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。  
電波を自動的に受信するのは、午前2時前と午前3時前と午前4時前です。  
その時間帯は、時計を身に着けずに電波を受信しやすいところに置き、動かさないようにしましょう。

→ 受信しやすくするために P.25

## 特 長

この時計はワールドタイム機能を搭載したソーラー駆動の電波修正ウォッチです。

- ・タイムゾーンを選択することで、世界各地域の時刻を表示できます。
- ・文字板の下にあるソーラーセルで、光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。
- ・時刻情報をのせた電波を受信することにより、正しい時刻を表示します。
- ・日本、中国、アメリカ、ドイツの電波を受信することができます。

■ ワールドタイム機能……………タイムゾーンを選択することで、そのタイムゾーンにある地域の時刻を表示します。  
→ P.34

■ 電波受信機能……………毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。  
→ P.18  
手動で強制的に電波を受信させることもできます。  
日本（2局）と中国、アメリカ、ドイツの電波を受信することができます。（ワールドタイム機能で受信局を選択します。）

■ 受信レベル表示機能……………電波受信中に、小秒針が受信状況を表示します。  
→ P.71  
（強制受信のみ）

■ ストップウォッチ機能……………1／5秒単位で計測できます。計測単位は60分です。  
→ P.42  
計測開始から6時間まで動きます。

■ 受信結果表示機能……………小秒針で、電波の受信結果（成否）を表示します。  
→ P.28

■ ソーラー充電機能……………文字板の下にあるソーラーセルで、光を「電気エネルギー」に換え、充電します。フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。

■ エネルギー切れ予告機能……………充電が必要なことを小秒針の動きで知らせてくれます。  
→ P.32

■ パワーセーブ機能……………光があたらない状態が続いたときに、無駄なエネルギーの消費を抑える機能です。

■ 針位置自動修正機能……………磁気などの外部影響で針がずれた場合に、自動的にずれを直します。  
→ P.78

## 各部の名称と主なはたらき

ストップウォッチ秒針  
→ P.43

時計

ボタン B

小秒針

ボタン A

タキメーター

→ P.14

→ P.50

ストップウォッチ分針

→ P.43

分針

24 時針

ボタン C

りゅうず

0 1 2

0 段目：強制受信

受信結果の確認

ストップウォッチ

日付・時分針の

基準位置合わせ

→ P.70

→ P.28

→ P.42

→ P.78

1 段目：手動 日付合わせ

→ P.76

2 段目：手動時刻合わせ

→ P.74

ストップウォッチ針の

基準位置合わせ

→ P.78

システムリセット

→ P.96

※ねじロック式りゅうずの場合、0 段目での操作は、りゅうずをロックをして行ってください。

→ りゅうずについて P.15

ボタン D

日付

※タキメーターのないモデルもあります。  
※タイムゾーン表示の都市名および各表示の位置は、モデル（デザイン）によって異なる場合があります。

## 受信レベル表示

【強制受信】→P.70

H……………受信レベル高い  
（50秒位置）

L……………受信レベル低い  
（40秒位置）

N……………受信できない  
（20秒位置）

## 受信局表示

表示（受信局のある国）	ストップウォッチ針表示位置
J / JJY（日本）	23秒位置
B / BPC（中国）	21秒位置
W / WWVB（アメリカ）	43秒位置
D / DCF77（ドイツ）	3秒位置

※ワールドタイム機能について →P.34

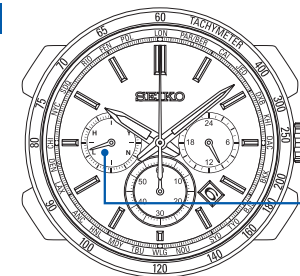
## 受信結果表示

【受信結果の確認】→P.28

Y……………受信できている（10秒位置）

N……………受信できていない（20秒位置）

■小秒針



## タイムゾーン表示

【タイムゾーン選択】

代表都市名…世界25エリア

※タイムゾーンを選択する  
（世界各地域の時刻を表示する）

→P.36

※各表示はモデル（デザイン）によって異なる場合があります。



1

この時計について

ボタンについて

デザイン性の向上や誤操作の防止のため、指で簡単に押すことのできないものがあります。ボタンの押しかたについては以下を確認してください。

	通常のボタン	上半分がおおわれている	ボタンリングがついている	周囲が全ておおわれている	ケースに埋め込まれている
外観					
押しかた	指で押す	先が細いものなどを使って押す ※ 下側から指で押すこともできます。	①ボタンリングを左(下方向)に回し、ゆるめる ②ボタンを指で押す ※ 操作が終わったら、ボタンリングを右に回してロックしてください。	先が細いものなどを使って押す	

※ ボタンの形状はデザインによって異なります。

14

1

この時計について

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。

りゅうずを右(上方向)に回します

回せる

通常のりゅうず

そのまま引き出して操作することができます

ゆるめる

ねじロック式りゅうず

操作するときはロックをはずします

操作が終わったらロックします 押しつけて

ゆるめる

しめる

※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤操作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわす恐れがありますので、ご注意ください。

15

2

ご使用の前に

① エネルギー残量を確認する

秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。

1秒ごとに運針している

充電されている

2秒ごとに運針している

エネルギーが少なくなっています → P.32

5秒ごとに運針している

パワーセーブ中 → P.33  
パワーセーブ解除後に秒針の動きを確かめてください

秒針が停止している

エネルギーがありません

十分な充電をしてください

充電のしかた → P.30

※ 充電をしても1秒運針にならないとき → こんなときは：充電 P.90

2

ご使用の前に

② 時刻・日付を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。  
時刻または日付を修正するときは、下記のページを参照してください。

時刻・日付が合っている

そのままお使いください

時刻または日付が合っていない

タイムゾーンの確認 → P.36

電波が受信できるとき

電波を受信して時刻・日付を合わせる → P.70

受信範囲のめやす 受信しにくい環境 → P.20 → P.26

電波が受信できないとき

手動で時刻を合わせる → P.74  
手動で日付を合わせる → P.76

16

17

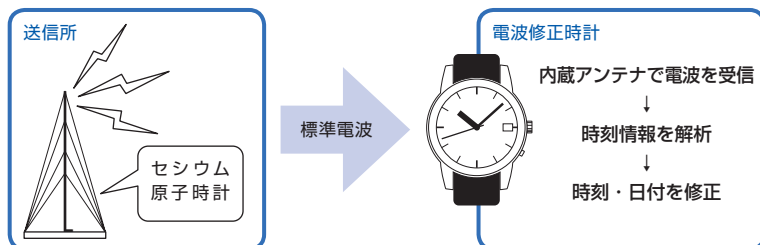
## 電波を受信して時刻・日付を合わせる

### 電波受信のしくみ

正確な時刻情報をのせた標準電波を受信して、正しい時刻・日付を表示します。

3

時刻の合わせかた (電波受信)



標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という  
超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

18

### 自動受信と強制受信

#### 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付を合わせます。  
自動受信は、午前 2 時前、午前 3 時前と午前 4 時前に行われます。

- ※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。
- ※ 電波の状況により、最長 12 分かかります。
- ※ ストップウォッチ針がリセットされていないと、電波受信・時差修正の機能は、はたらきません。  
ストップウォッチ針を確認してください。→ ストップウォッチのリセットのしかた P.48

受信のときは、時計を電波を受信しやすい場所に置き、  
動かさないようにします。→ 受信しやすくするために P.25

#### 強制受信

自動受信以外に、いつでも任意に電波を受信させることができます。  
→ 強制受信のしかた P.70

- ※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。→ 受信しにくい環境 P.26
- ※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。→ 受信範囲のめやす P.20
- ※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれP.92、日付のずれP.94
- ※ 日本、中国、アメリカ、ドイツ以外のタイムゾーンを選択していると、電波の受信はできません。  
→ タイムゾーン表示と時差一覧 P.38

3

時刻の合わせかた (電波受信)

19

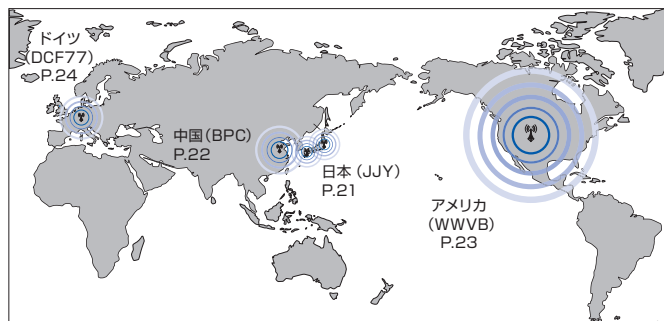
## 受信環境について

### 受信範囲のめやす

この時計は、日本 (2 局) と中国、アメリカ、ドイツの標準電波を受信します。  
ワールドタイム機能で受信局を選択することができます。  
→ タイムゾーンを選択する (世界各地域の時刻を表示する) P.36

3

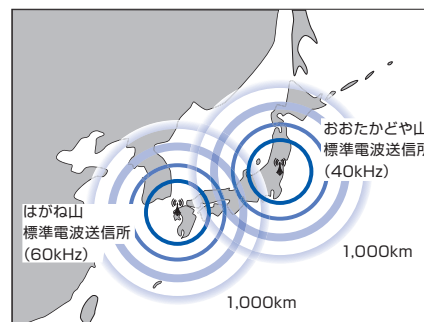
時刻の合わせかた (電波受信)



20

### 受信範囲のめやす：日本 (JJY)

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,000km です。  
(各送信所を中心に半径 1,000km)



NICT (情報通信研究機構)  
により運用されています。

福島：おたかどや山 標準電波送信所  
周波数：40 kHz  
九州：はがね山 標準電波送信所  
周波数：60 kHz

※ NICT: National Institute of Information and  
Communications Technology

※ 受信範囲のめやす内でも、条件 (天候・地形・建造物・  
方角などの影響) により、受信できない場合があ  
ります。  
→ 受信しにくい環境 P.26

3

時刻の合わせかた (電波受信)

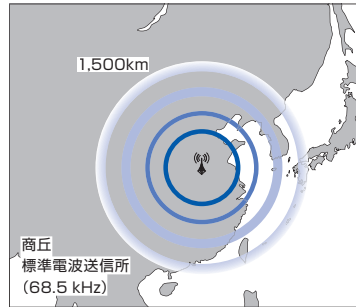
21

### ■ 受信範囲のめやす：中国（BPC）

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,500km です。  
（送信所を中心に半径 1,500km）

3

時刻の合わせかた（電波受信）



NTSC（中国科学院 国家授時中心）により運用されています。

河南省 商丘市

商丘 標準電波送信所

周波数：68.5 kHz

※ NTSC：National Time Service Center

※ 1,500km を超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。  
→ 受信しにくい環境 P.26

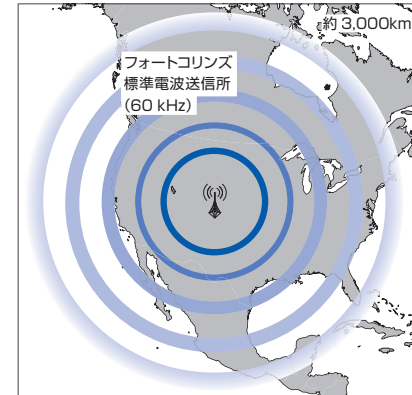
22

### ■ 受信範囲のめやす：アメリカ（WWVB）

送信所からの受信範囲のめやすは、約 3,000km です。  
（送信所を中心に半径 3,000km） 範囲内には 4 つのタイムゾーンがあります。

3

時刻の合わせかた（電波受信）



NIST（米国標準技術局）により運用されています。

コロラド州デンバー近郊

フォートコリンズ標準電波送信所

周波数：60 kHz

※ NIST：National Institute of Standards and Technology

※ 3,000km を超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。  
自動受信の時間帯が有利になりますので、自動受信をお勧めします。  
→ 受信しにくい環境 P.26

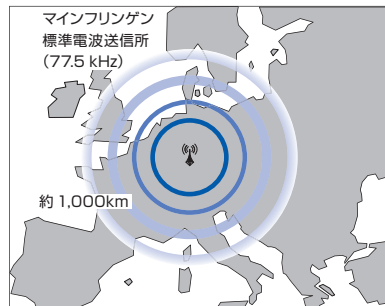
23

### ■ 受信範囲のめやす：ドイツ（DCF77）

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,000km です。  
（送信所を中心に半径 1,000km） 範囲内には 3 つのタイムゾーンがあります。

3

時刻の合わせかた（電波受信）



PTB（物理・技術連邦院）により運用されています。

フランクフルト南東：

マインフリンゲン標準電波送信所：77.5 kHz

※ PTB：Physikalisch-Technische Bundesanstalt

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。  
→ 受信しにくい環境 P.26

24

### ■ 受信しやすくするために

#### ・窓際など電波を受信しやすい場所に置いてください。

アンテナは 9 時位置にあります。

アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けると、より受信しやすくなります。

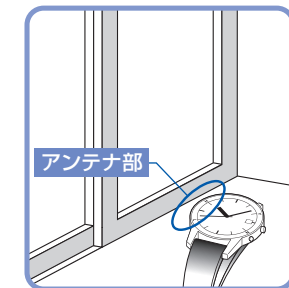
※ 送信所の場所 → 受信範囲のめやす P.20

#### ・受信中は動かさないでください。

安定した状態で電波を受信するために受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。

静止していない状態では電波の受信はできません。

※ 受信中にボタンやリゅうすを操作すると受信がキャンセルされます。



3

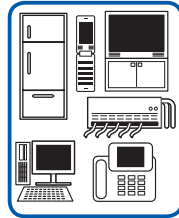
時刻の合わせかた（電波受信）

25

## ■ 受信しにくい環境

3

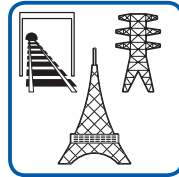
時刻の合わせかた (電波受信)



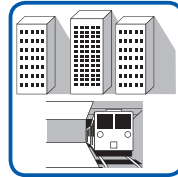
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
- ・携帯電話、パソコン、FAX など OA 機器の近く
- ・スチール机などの金属製の家具の上や近く



- ・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こる場所



- ・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く



- ・ビルの中、ビルの谷間や地下



- ・乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)

受信のときは、このような場所を避けてください。

26

## ⚠ 注意

- ・外部からの影響により誤った電波を受信をしたときは、間違った時刻を表示する場合があります。また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、受信を行う場所を変えてください。

- ・電波が受信できない場合でもクオーツの精度 (平均月差 ± 15 秒) で動いてます。
- ・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波 (電波停止) することがあります。停波に関する情報は、送信所のホームページをご覧ください。弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

- ・送信所のホームページアドレス (2015 年 6 月現在)

日 本 : 情報通信研究機構 (日本標準時プロジェクト) <http://jy.nict.go.jp/>  
中 国 : NTSC <http://www.ntsc.ac.cn/>  
アメリカ : NIST <http://www.nist.gov/pml/div688/grp40/wwwvb.cfm>  
ド イ ツ : PTB <http://www.ptb.de/cms/en.html>

3

時刻の合わせかた (電波受信)

27

## 受信ができているか確認する

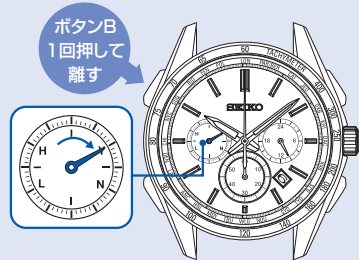
### ■ 受信結果表示について

最後に受信した結果 (成否) を小秒針が 5 秒間表示します。

3

時刻の合わせかた (電波受信)

#### ① ボタン B を 1 回押して、離す



※ボタン B を押し続けると、強制受信の動作に入ります。

#### ② 秒針が受信結果を示す

受信できている : Y  
10 秒位置



受信できていない : N  
20 秒位置



※5秒経過、または途中でボタンBを押すと時刻表示に戻ります。

28

## 受信結果が Y になったときは

- ・受信ができています。そのままお使いください。

※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは : 時刻、針のずれ P.92、日付のずれ P.94

## 受信結果が N になったときは

- ・時計を置く場所や向きを変えてから、受信させてください

受信範囲のめやす内でも、条件 (天候・地形・建造物・方角などの影響) により、受信できない場合があります。 → 受信しにくい環境 P.26  
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 受信範囲のめやす P.20

- ・タイムゾーンを確認して、受信させてください。

日本、中国、アメリカ、ドイツ以外のタイムゾーンを選択すると、電波を受信できません。タイムゾーンを確認してください。 → タイムゾーンを選択する (世界各地の時刻を表示する) P.36

- ・違う時間帯に受信させてください (強制受信の場合)

同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。  
電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。

- ・電波受信できない地域・場所でお使いのとき、またはどうしても受信がうまくいかないときは、手動で時刻を合わせてください。 → 手動時刻合わせのしかた P.74  
→ 手動日付合わせのしかた P.76

3

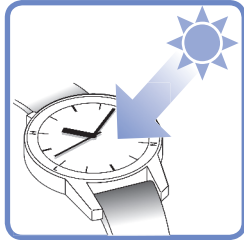
時刻の合わせかた (電波受信)

29

## 充電について

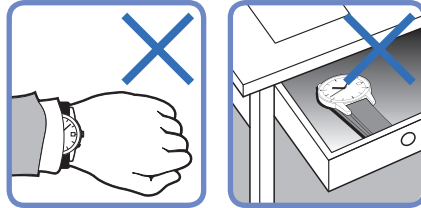
### ■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、  
十分な充電をすることを心がけましょう。

- ※ 充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は-10℃～+60℃です。)
- ※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電をしてください。



以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、  
時計が止まる可能性が高くなります。  
・時計が衣類のそでの中に隠れている  
・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

## エネルギーについて

### ■ エネルギー切れ予告機能について

エネルギー残量が少なくなると、エネルギー切れ予告機能がはたらきます。  
まず、小秒針が2秒ごとに動く「2秒運針」になります。  
さらに充電がされない状態が続くと、小秒針が5秒ごとに動く「5秒運針」になります。  
その後、エネルギーが切れると時計が停止します。  
エネルギー切れ予告機能がはたらいたときは、十分な充電をしてお使いください。

充電のしかた…………… P.30  
充電にかかる時間のめやす…………… P.31  
パワーセーブ機能について…………… 右ページ

- ※ エネルギー切れ予告機能がはたらいているときは、ボタン・りゅうずを操作しても作動しません。(故障ではありませんので、ご安心ください。)
- ※ 5秒運針中は、時計・分針・日付ともに停止しています。
- ※ 5秒運針中は、自動受信機能がはたらきません。十分な充電後に1秒ごとの運針に戻りましたら、電波を受信して正確な時刻に合わせましょう。(自動受信と強制受信 → P.19)

### ■ 充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒運針 になるまで★	1日ぶん 動かすには
500	白熱球	60W 60cm	—	—	6時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	—	4時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	—	40時間	3時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	230時間	6時間	1時間
5000	蛍光灯	30W 12cm	150時間	4時間	35分
1万	蛍光灯	30W 5cm	60時間	1.5時間	15分
	太陽光	くもり			
10万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	30時間	30分	3分



★この数値は、止まっていた時計に光をあてて、「確実に1秒運針になるまで」に必要な充電時間のめやすです。  
この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ですぐに2秒運針になることがあります。  
この時間をめやすに充電してください。

- ※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。
- ※ 運針については、エネルギー残量を確認してください。 → エネルギーを確認する P.16

### ■ パワーセーブ機能について

光があたらない状態が続くと、パワーセーブ(節電)機能がはたらきます。

※ パワーセーブには、2つのモードがあります。

	パワーセーブ 1	パワーセーブ 2
条件	光が当たらない状態が 72時間以上続いた	充電不足の状態が長く続いた
状況	 小秒針が15秒 の位置で停止 時分針も停止 自動受信を行う	 小秒針が45秒 の位置で停止 時分針も停止 自動受信を行わない
対処の しかた	5秒以上光をあてると、針が 早送りされて現在時刻に戻ります	十分な充電後、必要に応じて 時刻を合わせてください

パワーセーブ2について

- ※ 充電をした場合、充電中は【5秒運針】になります。【5秒運針】の間はボタン・りゅうずとも操作できません。
- ※ 長時間続くと、エネルギー残量の低下により、内部で記憶されていた現在時刻の情報が失われます。十分な充電後に1秒ごとの運針に戻ったら、電波を受信して時刻を合わせてください。(自動受信と強制受信 → P.19)

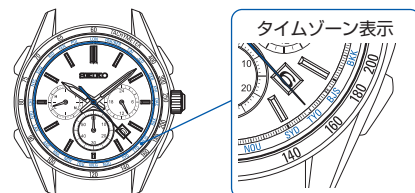


## ワールドタイム機能の使いかた

### ■ワールドタイム機能の特長

- ・ **タイムゾーン（世界の25の地域）** を選択することで世界各地域の時刻を表示できます。

タイムゾーン選択モードでは、選択されているタイムゾーンをストップウォッチ秒針が示します。



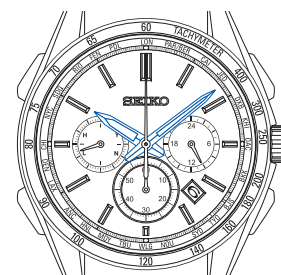
- ・ **日本（2局）または中国・アメリカ・ドイツのタイムゾーン** を選択すると、電波の受信範囲内では、**自動受信時、また強制受信時に、電波を受信して正確な時刻・日付を表示します。**

※受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 受信範囲のめやす P.20

- タイムゾーンを選択する（世界各地域の時刻を表示する） P.36
- タイムゾーン表示と時差一覧 P.38

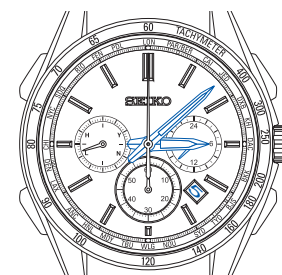
例:ホノルルの時刻を表示する(タイムゾーンをHNL(ホノルル)に選択する)  
タイムゾーンを選択すると、日付が変わります。

<変更前>



日本時間 : 6日 10時8分42秒  
ホノルル時間 : 5日 15時8分42秒

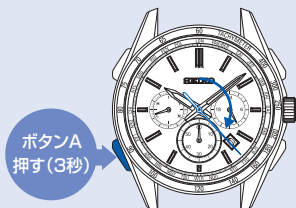
<変更後>



## タイムゾーンを選択する(世界各地域の時刻を表示する)

- ① ボタンAを押し続けて(3秒)  
ストップウォッチ秒針が動いたら離す

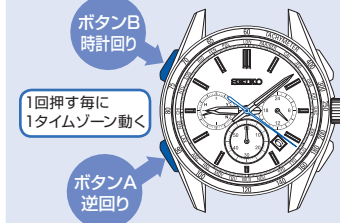
▶ タイムゾーン選択モードに入り、ストップウォッチ秒針が現在設定されているタイムゾーンを示します。



※ボタン操作をしない状態で10秒以上経くとストップウォッチ秒針が自動的に0秒位置に戻ります。操作途中のときは、①から操作をやりなおしてください。  
※ストップウォッチがリセットされていないときはタイムゾーン選択モードに入りません。(ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを示しません。)ストップウォッチをリセットしてから操作をしてください。→P.48

- ② ボタンAまたはボタンBを押して、ストップウォッチ秒針を目的地のタイムゾーンに合わせる

▶ ボタンAまたはボタンBを押すとストップウォッチ秒針が移動し、タイムゾーンが変わります。ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを表します。



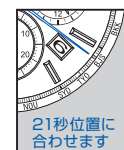
タイムゾーンを選択することで、電波の受信局を切り替えます。受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたきません。

※サマータイム(DST)の設定をする時は、目的地のタイムゾーンから+1時間のタイムゾーンに設定してください。

日本で使うとき



中国で使うとき



その他の地域で使うとき

タイムゾーン表示と時差一覧  
→ P.38

- ③ 時分針の動きが止まってから、10秒間お待ちください。(タイムゾーン選択モードが終了)

▶ 10秒経過後、ストップウォッチ秒針が0秒位置に戻ります。

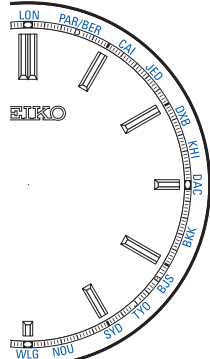
※日付が変わる場合は、ストップウォッチ秒針が0秒位置に戻ってから、動きます。



## タイムゾーン表示と時差一覧

タイムゾーン選択モードでは、以下をめやすに目的地のタイムゾーン表示にストップウオッチ秒針を合わせてください。サマータイム（DST）の設定をする時は、目的地の時差から+1時間の時差に設定してください。

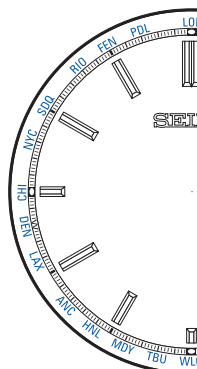
表示	秒針位置	代表都市名	UTCからの時差	受信電波局
LON	0秒	ロンドン	0時間	DCF77
PAR/BER	3秒	パリ/ベルリン	+1時間	DCF77
CAI	6秒	カイロ	+2時間	DCF77 △
JED	8秒	ジッダ	+3時間	—
DXB	11秒	ドバイ	+4時間	—
KHI	13秒	カラチ	+5時間	—
DAC	15秒	ダッカ	+6時間	—
BKK	18秒	バンコク	+7時間	—
BJS/HKG	21秒	北京/香港	+8時間	BPC
TYO	23秒	東京	+9時間	JJY
SYD	25秒	シドニー	+10時間	JJY △
NOU	28秒	ヌーメア	+11時間	—



※「受信電波」に△のついたタイムゾーンは東京、ニューヨーク、またはパリ/ベルリンがサマータイム（DST）のときに選択します。  
※各表示はモデル（デザイン）によって異なる場合があります。

（2015年3月現在）

表示	秒針位置	代表都市名	UTCからの時差	受信電波局
WLG	30秒	ウェリントン	+12時間	—
TBU	32秒	ヌクアロファ(トンガタブ島)	+13時間	—
MDY	34秒	ミッドウェー島	-11時間	—
HNL	36秒	ホノルル	-10時間	—
ANC	38秒	アンカレッジ	-9時間	—
LAX	41秒	ロサンゼルス	-8時間	WWVB
DEN	43秒	デンバー	-7時間	WWVB
CHI	45秒	シカゴ	-6時間	WWVB
NYC	48秒	ニューヨーク	-5時間	WWVB
SDQ	50秒	サント・ドミンゴ	-4時間	WWVB △
RIO	53秒	リオデジャネイロ	-3時間	—
FEN	55秒	フェルナンドデノロニャ諸島	-2時間	—
PDL	57秒	アゾレス諸島	-1時間	—



## ■ タイムゾーンと時差について

世界各地には協定世界時（UTC）を基準にして、その国や地域で共通して使用する標準時があります。

標準時は国や地域によって決められており、同じ標準時を使う地域全体をタイムゾーンと言います。

また、地域によっては個別に【サマータイム（DST）】が設定されています。

### 協定世界時（UTC）

Coordinated Universal Time = コーディネイテッドユニバーサルタイム

UTCは国際協定により定められた世界共通の標準時です。全世界で時刻を記録する際に公式な時刻として使われています。天文学的に定められた世界時（UT）とのずれを補正するため、世界中にある原子時計を元に決められた「国際原子時（TAI）」にうるう秒を加えて、調整をした時刻がUTCとなります。

### サマータイム（DST）：Daylight Saving Time = デイライトセービングタイム

夏時間のことです。

夏の日照時間の長いときに、時刻を1時間進めて昼間の時間を長くする制度です。

サマータイム（DST）の実施期間や実施地域は国によって様々です。

※各地域の時差、およびサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。

※ごく一部の地域では15分、30分単位で時差が設定されている場合があります。（インドなど）

## ■ ワールドタイム機能 Q&A

Q：日本から海外に移動したときは、自動的に現地の時刻になりますか？

A：移動しただけでは現地の時刻になりません。

海外に移動したときは、その地域のタイムゾーンを選択してください。

タイムゾーンを選択することで、自動的に現地の時刻を表示します。

（1時間単位で時差を合わせることができます。）

タイムゾーン選択後、電波の受信範囲内では電波を受信して、より正しい現地の時刻に合わせることができます。

（タイムゾーンを選択することで、受信する電波の受信局が切り替わります。）

Q：海外から日本に戻ってきたときは、自動的に日本の時刻になりますか？

A：移動しただけでは日本の時刻になりません。

日本で使う時は「ワールドタイム機能」で日本時間に設定してください。

Q：タイムゾーンの選択の操作をしている間は針が止まっているので、時刻がずれてしまうのではないですか？

A：内部の回路が時刻を記憶していますので、時刻がずれることはありません。

Q：受信範囲ではない地域にタイムゾーンを設定していると、電波を受信しませんが、その間の時計の精度はどうなっていますか？

A：その場合は、通常クォーツ時計としてお使いいただけます。（平均月差±15秒）

Q：15分、30分単位のタイムゾーンがある地域の時刻に合わせるにはどうすればいいですか？

A：「手動時刻合わせ」の機能をお使いください。

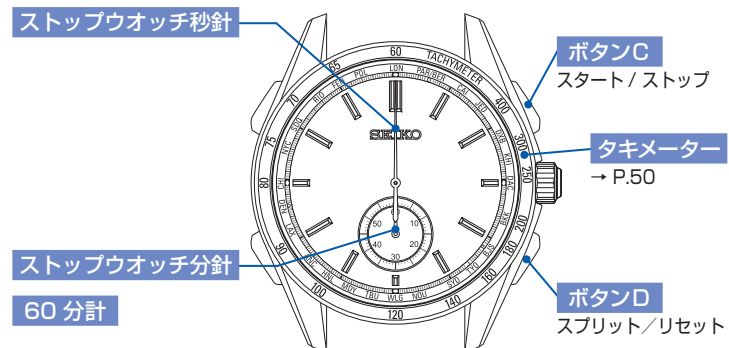
→手動時刻合わせのしかた P.74

## ストップウォッチ機能について

- 1 / 5秒単位で計測できます。  
計測時間は、60分です。  
6時間計測後、自動的にリセットされ、0位置に停止します。

※ストップウォッチ秒針は、60分経過後に自動的に0秒位置で停止します。  
再度、計測中にストップまたはスプリット操作があった場合、その時の計測時間を表示します。  
再スタート後、またはスプリット解除後も最大60分間は運針します。

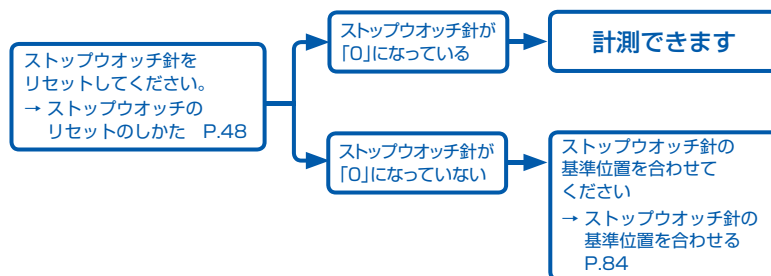
## ■ ストップウォッチ機能部の名称とはたらき



※タキメーターの表示位置は、モデル（デザイン）によって異なる場合があります。  
※タキメーターのないモデルもあります。

## ■ ストップウォッチご使用前の確認

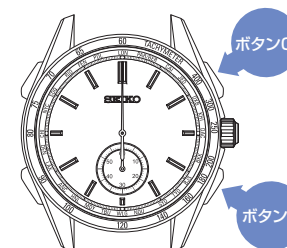
計測前には、ストップウォッチ針（秒・分）が「0」位置に合っているか確認してください。



## ■ ストップウォッチの使いかた

ストップウォッチの使いかたは、4つあります。

### ・通常の計測



### ・計測を積算で行なう場合



※ボタンについて  
→ P14

※スタート→ストップは、何回でも繰り返すことができます。

ストップウォッチ機能について

### ・スプリットタイム（途中経過時間）の計測

※スプリットタイムとは、スタートからある地点までの途中経過時間のことです。

```

    graph LR
      C1[C スタート] --> D1[D P 地点通過  
(途中経過時間表示)]
      D1 --> C2[C ゴール  
(ストップ)]
      C2 --> D2[D (ゴールタイム  
表示)]
      D2 --> D3[D リセット]
    
```

ボタンC  
ボタンD

例：各地点通過時の計測  
【スタート→P 地点→ゴール】  
の各タイム計測

6

ストップウォッチ機能について

### ・2人のタイムを計測する場合

```

    graph LR
      C1[C スタート] --> D1[D 1 人目がゴール  
(1 人目のタイム  
表示)]
      D1 --> C2[C 2 人目がゴール  
(1 人目のタイム  
表示)]
      C2 --> D2[D (2 人目のタイム  
表示)]
      D2 --> D3[D リセット]
    
```

6

ストップウォッチ機能について

### ■ ストップウォッチのリセットのしかた

ストップウォッチ針をリセットしてから、計測をしてください。  
ストップウォッチのリセットのしかたは、右ページにあります。  
リセットしても「0秒」位置に停止しないときは、基準位置を確認してください。  
→ストップウォッチ針の基準位置を合わせる P.84

ストップウォッチ秒針  
ストップウォッチ分針  
ボタンC  
ボタンD

6

ストップウォッチ機能について

```

    graph TD
      A[ストップウォッチ針が止まっている] --> B[ボタンCとボタンD  
を操作し、ストップ  
ウォッチ針を動い  
ている状態に  
してください  
※ボタンについて  
→ P.14]
      C[ストップウォッチ針が動いている] --> B
      B --> D[ボタンC、  
ボタンDの  
順に押す]
      D --> E[0秒位置で  
停止している]
      D --> F[0秒位置以外で  
停止している]
      E --> G[リセット完了です]
      F --> H[ストップウォッチ針の  
基準位置を合わせる  
→P.84]
    
```

※ストップウォッチ針が動いている状態で操作してください。

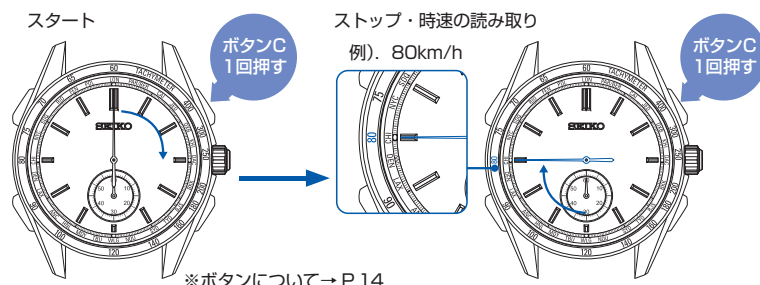
6

## ■ タキメーター (TACHYMETER) の使いかた

時速や単位時間あたりの出来高などが簡単に計測できます。

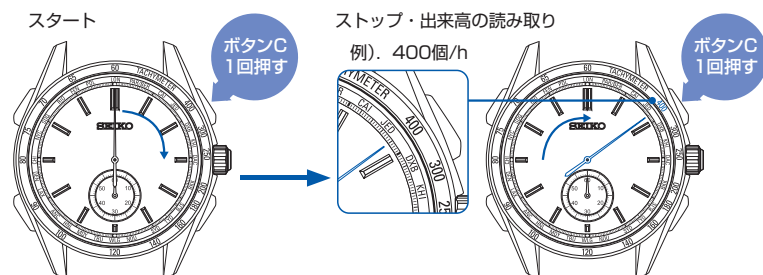
### ・時速の計測

- ① 1km走るのに要した時間を計測します。(1分以内のとき)
- ② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。



### ・1時間あたりの出来高

- ① 製品1個が出来上がるのに要した時間を計測します。(1分以内のとき)
- ② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。



## お手入れについて

### ● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- ・ りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・ 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。  
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。  
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。  
→ 性能と型式について P.53 防水性能について P.54

### ● りゅうずは時々回してください

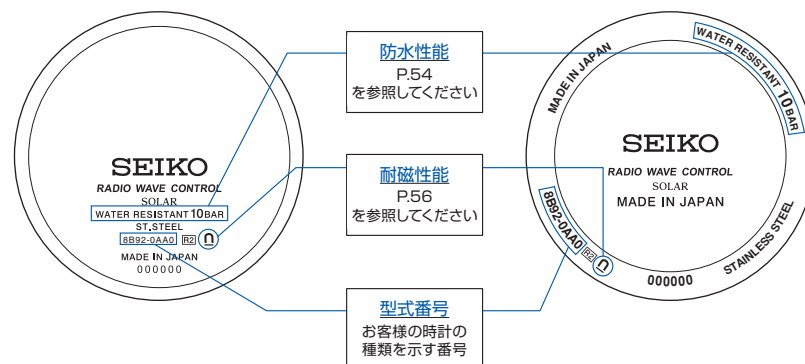
- ・ りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 → りゅうずについて P.15

### ● ボタンは時々押してください

- ・ ボタンのさびつきを防止するため、時々ボタンを押してください。  
※ ボタンを押すことで表示が変わった場合は、そのままお待ちください。

## 性能と型式について

### 時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます




※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

## 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を  
下記の表でご確認の上で使用ください。

(「P.53」をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。  <b>警告</b> 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で 10 (20) 気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンドайビングに使用できます。



54

55

## 耐磁性能について (磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

※ この時計は、磁気により時刻が狂っても、「針位置自動修正機能」によって自動的に針位置を修正します。(P.78)

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 10 cm 以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

56

### 時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



57

## バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

### ●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。  
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・ 残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

### ●皮革バンド

- ・ 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・ 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・ 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・ 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・ 時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでの使用はお控えください。

### ●ポリウレタンバンド

- ・ 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・ 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・ 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。  
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・ 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

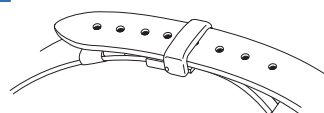
かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



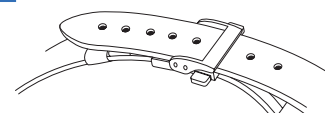
## 皮革バンド用三つ折れ式中留 (なかどめ) の使いかた

皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法を参照してください。

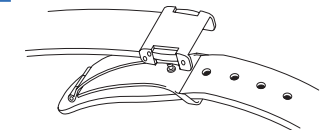
### A Aタイプ → P.61



### B Bタイプ → P.62

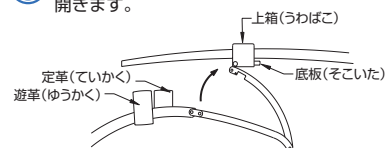


### C Cタイプ → P.64

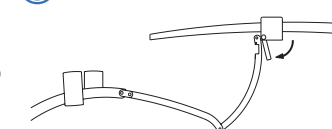


## A Aタイプの使いかた

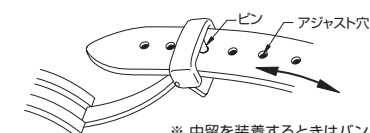
- ① バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② 上箱の底板を下に開きます。

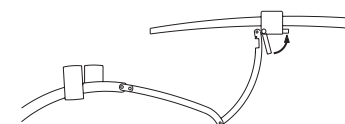


- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



- ④ 底板を閉めます。

※ 底板を押しこみ過ぎないようにしてください。



※ 中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。



## B タイプの使いかた

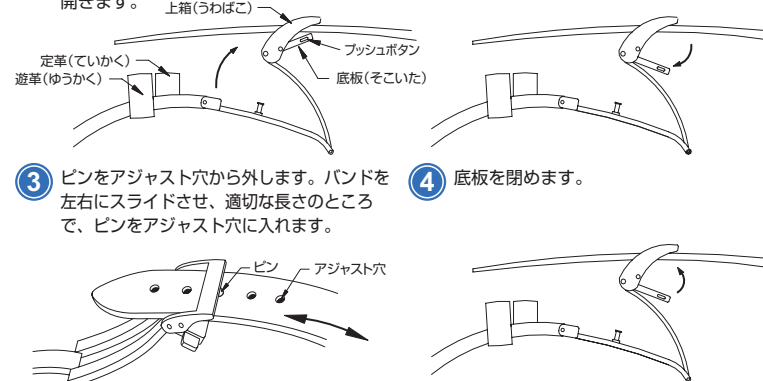
### ・着脱のしかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② バンドの剣先（先端）を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。



## ・バンドの長さを調節するには

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。
- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。
- ④ 底板を閉めます。



## C タイプの使いかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。
- ② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。



## ルミブライトについて

### お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間：500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～5 時間）発光します。光が当たらなくなったら輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※ 一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見えにくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）

※ ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

<照度のめやすについて>

環 境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	<もり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	<もり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 （白色蛍光灯 40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

## 使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しください。



### ■ 二次電池交換時のご注意

- ・ 二次電池は取り出さないでください。  
二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- ・ 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

ご注意ください

7

66

## アフターサービスについて

### ●保証と修理について

- ・ 修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・ 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・ 保証内容は保証書に記載したとおりです。  
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・ 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

### ●補修用性能部品について

- ・ この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・ 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意ください

7

68

### ※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※ フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす P.31」を参照してください。



### ■ 充電時のご注意

- ・ 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- ・ 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- ・ 時計が60℃以上にならないようにしてください。

ご注意ください

7

67

### ●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・ 長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。  
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・ 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

ご注意ください

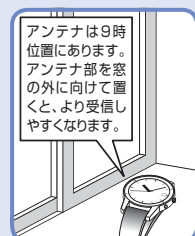
7

69

## 強制受信のしかた (手動で電波を受信する)

### ① 時計を置く

▶ 時計を電波の受信しやすい場所に置きます。



→ 受信しやすくするために P.25

### ② ストップウォッチのリセット及び、タイムゾーンの設定を確認する

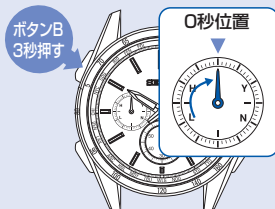
※ストップウォッチがリセットされていない。または、タイムゾーンの設定を受信可能地域以外に選択している場合、電波を受信できません。

- ・ストップウォッチをリセットする。  
→ ストップウォッチのリセットのしかた P.48
- ・タイムゾーンを選択する。  
→ タイムゾーンを選択する (世界各地域の時刻を表示する) P.36

### ③ 小秒針が0秒位置に移動するまでボタンBを押す(3秒)

▶ 0秒位置に停止してから、受信がはじまります。

※小秒針が0秒位置に停止しないときは、強制受信はできません。②の操作をしてください。



### ④ 時計を置いて、数分待つ

※受信中に時計を動かしたり、操作すると電波の受信ができません。

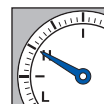
電波の状況により  
最長12分かかります

▶ 小秒針が1秒ごとに動いたら、受信が終了です。

およそ1分ごとに小秒針が動いて、受信レベルを更新します。

#### 受信中の表示

受信レベル  
高い(H):  
50秒位置



受信レベル  
低い(L):  
40秒位置



受信できないとき

受信レベル  
できない(N):  
20秒位置



5秒後に、時刻表示に戻ります。

※環境によっては電波が受信しにくいことがあります。→ 受信しにくい環境 P.26  
※受信範囲の外では、受信はできません。→ 電波受信範囲のめやす P.20  
※受信レベル表示が「N」を指したときは、受信はキャンセルされます。  
※受信レベル表示が「L」を指したときは、受信できないときがあります。  
※受信できないときは → 受信結果が「N」になったときは P.29

### ⑤ 受信が終了すると小秒針が1秒ごとに動き出す

▶ 受信ができていないか確認する。

→ 受信結果の確認 P.28

困ったときは

8

70

困ったときは

8

71

## 電波の受信ができないとき

電波の受信ができないときは、以下のページを確認してください。

### ・電波の受信範囲内で受信ができないとき

お使いの地域のタイムゾーンになっているか確認してください。

タイムゾーンを選択しても、時刻・日付が合わないとき → こんなときは：電波受信 P.90

それでも電波の受信ができないため、時刻・日付を合わせられないときは、手動で時刻・日付を合わせてください。

→ 手動時刻合わせのしかた P.74

→ 手動日付合わせのしかた P.76

※ 電波受信の範囲は「受信範囲のめやす P.20」をご確認ください。

### ・電波受信範囲の外で使うとき

お使いの地域のタイムゾーンを選択してください。

→ タイムゾーンを選択する (世界各地域の時刻を表示する) P.36

タイムゾーンを選択しても、時刻・日付が合わないときは、手動で時刻・日付を合わせてください。

困ったときは

8

72

困ったときは

8

73

## ■ 手動時刻合わせのしかた

電波の受信範囲外などの電波が受信できない環境で、継続的に使用する場合、手動で時刻を合わせることができます。

※電波が受信できない場合でも、クォーツ時計の精度（平均月差±15秒）で動いています。

- ・時刻を修正するときには、24 時針・日付が連動して動きます。
- ・手動時刻合わせの後で電波受信したときは、受信した時刻を表示します。  
→ 強制受信のしかた P.70

困ったときは

8

74

### ① りゅうずを 2 段引くと小秒針が 0 秒位置に停止する

▶「手動時刻合わせモード」に入ります。  
(ストップウォッチが動いているときも、ストップウォッチ針は、0秒位置に停止します。)

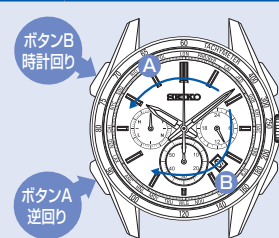


※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをはずしてください。  
→ P.15

※「手動時刻合わせモード」に入ると、電波受信結果のデータが失われるため、受信結果を確認しても「N」と表示されます。

### ② ボタン A またはボタン B を押して時刻を合わせる

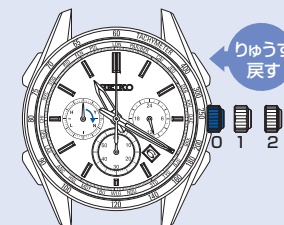
1分送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出しもう一度押すと止まる



※りゅうずを回しても針は動きません。

### ③ 時報など合わせてりゅうずを押し戻す

▶操作は完了です。  
時計が動きはじめます。



※ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。  
→ P.15

困ったときは

8

75

## ■ 手動日付合わせのしかた

電波の受信範囲外などの電波が受信できない環境で、自動で日付が変わらない場合（小の月から大の月になる際など）は、手動で日付を修正することができます。

※電波が受信できない場合でも、クォーツ時計の精度（平均月差±15秒）で動いています。

- ・日付は時刻に関係なく単独で合わせることができます。
- ・手動時刻合わせの後で電波を受信したときは、受信した時刻情報にもとづいた時刻を表示します。
- ・再び受信可能な地域でお使いいただく際は、【強制受信】をしていただくことをおすすめします。  
→ 強制受信のしかた P.70

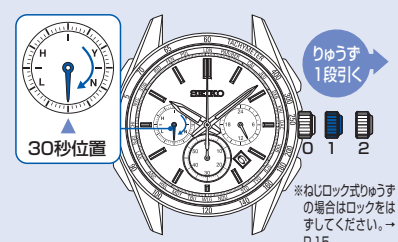
困ったときは

8

76

### ① りゅうずを 1 段引くと小秒針が 30 秒位置に停止する

▶「日付」合わせモードに入ります。  
(ストップウォッチが動いているときも、ストップウォッチ針は、0秒位置に停止します。)



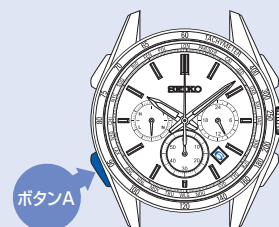
※ねじロック式りゅうずの場合はロックをはずしてください。  
→ P.15

※モードに入っている間も時計は動いています。  
(小秒針は止まったままです。)

### ② ボタン A を押して日付を合わせる

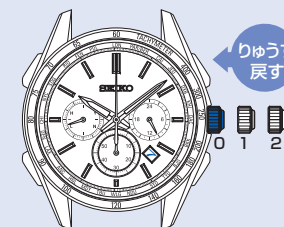
※修正しない場合は、③の操作へ

1日送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、もう一度押すと止まる



### ③ りゅうずを押し戻す

▶操作は完了です。  
時計が動きはじめます。



※ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。  
→ P.15

困ったときは

8

77

## 基準位置について

電波の受信に成功しても時刻・日付が合わないとき、ストップウォッチをリセットしてもずれているときは、基準位置がずれていることが考えられます。

基準位置がずれる理由は、以下の原因が考えられます。

- ・強い衝撃を受けたとき : 落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
  - ・磁気の影響を受けたとき : 磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。
- 【針の基準位置がずれている】状態とは、体重計に例えると「メーターのゼロ位置が合っていないために、正しい体重が表示できない」ということです。

### ■ 針位置自動修正機能（時分針の基準位置合わせ）

時分秒針には、基準位置がずれたときに自動的に修正する「針位置自動修正機能」があります。針位置自動修正機能がはたらくのは、小秒針は1分に1回、時分針は12時間に1回（午前午後12時）です。

- ※ この機能は、衝撃や磁気による影響（外的要因）で、針がずれてしまったときにはたらきます。時計の精度や製造上の微細なズレを修正する機能ではありません。
- ※ 時分針の基準位置は手動でも修正することができます。 → 日付・時分針の基準位置を合わせる P.80

### ■ 日付・ストップウォッチ針の基準位置合わせ

日付及び、ストップウォッチ針の基準位置は自動では修正されないため、手動で合わせる必要があります。

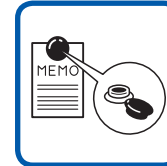
- 日付・時分針の基準位置を合わせる P.80
- ストップウォッチ針（秒・分）の基準位置を合わせる P.84

困ったときは

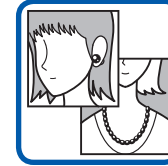
8

78

### ■ 身のまわりにある磁気を発するもの



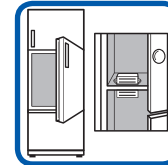
・マグネットクリップ



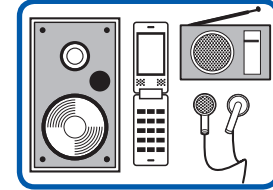
・磁石を使ったアクセサリー



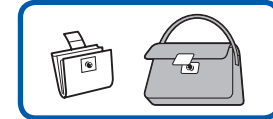
・磁気治療器（シップ寝具、腰痛バンドなど）



・冷蔵庫や家具のドアのマグネット



・オーディオ機器、ラジオ、イヤホン携帯電話などのスピーカー



・バッグや財布の留め金

困ったときは

8

79

## 基準位置の合わせかた

ストップウォッチ針（秒・分）の基準位置を合わせる → P.84

日付・時分針の基準位置を合わせる → P.80

### ■ 日付・時分針の基準位置を合わせる

日付の基準位置は、「1」（1日）

時分針の基準位置は、「午前0時0分」です。

基準位置がずれていると、電波を受信しても、正しい時刻・日付が表示できません。基準位置を合わせることで、時刻・日付の遅れ・進みが修正されます。

・日付の数字が日付窓の中心からずれている場合もこの操作で修正することができます。

困ったときは

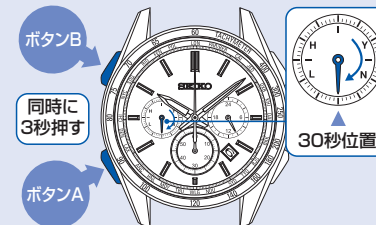
8

80

※操作①～⑤で、日付・小秒針が停止した後に操作がなく、日付・針が動いていない状態が20秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中の場合は、①から操作をやりなおしてください。

### ① 小秒針が30秒位置に停止するまでボタンA・Bを同時に押す（3秒）

▶ 「日付」の基準位置合わせモードに入ります。その後、日付が動き出し、基準位置で止まります。



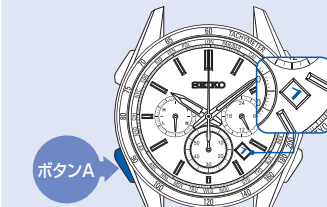
※日付が動いている間は、ボタン操作はできません。

### ② ボタンAを押して日付を「1」にする

▶ 「1」の数字が、日付窓の中心になるように合わせてください。

※「1」が表示されている場合は、③の操作へ

連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、もう一度押すと止まる
微調整	断続的に押すと少しずつ進む



次のページに続く

困ったときは

8

81



**③ 小秒針が0秒位置に停止するまでボタンBを押す(3秒)**

▶ 「時分針」の基準位置合わせモードに入ります。  
※正しい時刻が表示されている場合は、⑤の操作へ

ボタンB  
3秒押す

0秒位置

**④ ボタンAを1回押して離す**

▶ 時分針が動き、「午前0時0分」に停止します。

ボタンA  
1回押す

**⑤ 操作が終了したら20秒間放置する**

▶ 自動的に基準位置合わせモードが終了し、小秒針が動きはじめます。

時刻表示の状態に戻ったら、時刻・日付が合っているか確認

時刻・日付が合っていない場合は時刻・日付を合わせてください。

電波を受信して時刻・日付を合わせる  
強制受信のしかた → P.70

電波の受信ができないとき

手動時刻合わせのしかた → P.74

手動日付合わせのしかた → P.76

## ■ ストップウォッチ針(秒・分)の基準位置を合わせる

ストップウォッチ針(秒・分)の基準位置は、それぞれ「0秒・0分」です。  
基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

**① りゅうずを2段引くと小秒針が0秒位置に停止する**

0秒位置

りゅうず  
2段引く

※ねじロック式  
りゅうずの場合  
は、ロック  
をはずして  
ください。  
→ P.15

※日付、ストップウォッチ針も停止します。

※①の操作を行うと時刻がずれます。

操作⑥で時刻合わせを行ってください。  
(電波を受信して時刻を合わせる。)

**② ストップウォッチ秒針が動くまでボタンCを押す(2秒)**

▶ ストップウォッチ秒針が1回転し、「ストップウォッチ秒針」の基準位置合わせモードに入ります。

ボタンC  
2秒押す

※ボタンについて  
→ P.14

**③ ボタンDを押してストップウォッチ秒針を「0秒」にする**

▶ ストップウォッチ秒針を「0秒」位置に合わせてください。  
※「0秒」の場合は、④の操作へ

連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる
微調整	断続的に押すと少しずつ進む

ボタンD

※ボタンについて  
→ P.14

次のページに続く



**④ ストップウォッチ分針が動くまでボタンCを押す(2秒)**

▶ ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。

**⑤ ボタンDを押してストップウォッチ分針を「0分」にする**

▶ ストップウォッチ分針を「0分」(60分)位置に合わせてください。  
※「0分」の場合は、⑥の操作へ

連続送り 2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる  
1分送り 断続的に押すと1分ずつ進む

**⑥ りゅうずを押し戻し、電波を受信して時刻を合わせる**

▶ 基準位置モードが終了し、時計が動きはじめます。

▶ 強制受信をしてください。  
→ 強制受信のしかた P.70  
※りゅうずを2段引くと(操作①)、時刻がずれるため時刻合わせを行ってください。

電波が受信できない環境では、手動で時刻・日付を合わせてください。  
手動時刻合わせのしかた → P.74  
手動日付合わせのしかた → P.76

**時刻・日付を合わせたら操作は終了です。**

※ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。 → P.15

## こんなときには

こんなときには		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
針の動き	小秒針が2秒ごとに運針している	エネルギー切れ予告機能がはたらいている (P.32) 毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中などに隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。	小秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P.30
	小秒針が5秒ごとに運針している		携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないように気をつけてください。 また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけてください。	
	小秒針が15秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	現時刻表示になるまでお待ちください。 そのまま何もせずにお使いください。(異常な動きではありません。)	—
	小秒針が45秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	① 小秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて電波を受信してください。	P.30 P.18
	ボタン操作をしていないのに針が早送りされ、その後は普通に運針をしている	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 針位置自動修正機能がはたらいた (P.78) 外部からの影響などで針がずれた場合には、針位置自動修正機能がはたらいて自動的に針のずれを直します。	そのまま何もせずにお使いください。(異常な動きではありません。)	—

こんなときには		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
電波受信	受信できない  受信結果表示が「N（受信できていない）」になる	受信中に時計を動かした。 （電波の受信には最長 12 分かかります。）	受信中は時計を動かさないようにしてください。 受信には時間がかかるので、最長 12 分お待ちください。	P.25 P.71
		受信しにくい環境にある。（P.26）	受信しやすい環境に時計を置きなおして受信をしてください。	P.25
		標準電波送信所の都合で電波を止めている。（停波）	停波に関する情報は、送信所を運営する機関のホームページを参照ください。 時間を置いて受信してみましょう。	P.27
		ストップウォッチ針（秒・分）がリセットされていない。	ストップウォッチ針（秒・分）をリセットしてください。	P.48
		受信可能地域以外の地域に、 タイムゾーンが設定されている。	① 設定されているタイムゾーンを確認し、選択しなおしてください。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて電波を受信してください。	P.36 P.18
充 電	止まっていた時計を 「フル充電までの所要時間」 を超えて充電しても 1 秒運針にならない	あてる光が弱い。 充電時間が短い。	照度によって充電にかかる時間は変わります。 「充電にかかる時間のめやす」を参考に、充電を行なってください。	P.31
		時計内部のシステムが不安定になっている。	「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.96

こんなときには		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
時刻、針の ずれ	時計が一時的に進む、 または遅れる	外部からの影響で間違った時刻を受信した。（誤受信）	① より受信しやすい環境で受信するようにしてください。 ② 必要に応じて強制受信をしてください。	P.25 P.70
		時計を暑いところ、または寒いところに放置した。	① 常温に戻れば元の精度に戻ります。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて強制受信をしてください。 ③ 元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	— P.70 —
	分・秒は合っているが、時刻が 1 時間単位でずれている	タイムゾーンの設定があていない。	選択されているタイムゾーンの設定を確認し、 使用する地域のタイムゾーンにあわせてください。	P.36
	受信に成功したのに 時刻がずれている	外部からの影響で針の位置がずれている。 針の基準位置がずれている。 → 基準位置について P.78	① 針位置自動修正機能がはたらいて、自動的に修正されます。何もせずにそのままお使いください。針位置自動修正機能がはたらくのは、小秒針は 1 分に 1 回、時分針は午前・午後 12 時です。お急ぎの場合は、時分針を手動で修正してください。	P.74
	「受信結果表示」や 「受信レベル表示」で 小秒針の位置がずれている	小秒針の基準位置がずれている。（外部からの影響などにより小秒針の位置がずれているときに起こります。） → 基準位置について P.78	② 針のずれが修正されない場合は、「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。 ③ ②の操作を行なっても、針のずれが修正されない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.96 —

こんなときには		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
日付のずれ	受信成功後、時刻は合っているが日付が合っていない	日付の基準位置がずれている。 外部からの影響やシステムリセットなどにより、日付の基準位置がずれているときに起こります。	日付の基準位置を「1」（1 日）にしてください。	P.78
ストップウォッチ針のずれ	リセット後、0 秒位置に停止しない	ストップウォッチ針の基準位置がずれている。 外部からの影響やシステムリセットなどにより、針の基準位置がずれているときに起こります。	ストップウォッチ針の基準位置を「0」にしてください。	P.78
タイムゾーン	タイムゾーンの選択ができない	ストップウォッチ針が動いている。	ストップウォッチをリセットしてください。	P.48
操 作	ボタン、りゅうずが機能しない（操作しても動かない）	エネルギー残量が少なくなっている。 設定の操作直後で、日付が動いている途中である。	小秒針が 1 秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。 何もせず、そのままお待ちください。 日付の動きが止まれば操作できるようになります。	P.31 —
	設定中に操作がわからなくなった	-----	① りゅうずが引き出されている場合は、りゅうずを戻してください。 ② しばらく放置すると通常運針に戻ります。 ③ その後で、改めて設定をやりなおしてください。	—
その他	ガラスのくもりが消えない	バッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。	—

※記載以外の現象はお買い上げ店にご相談ください。

94

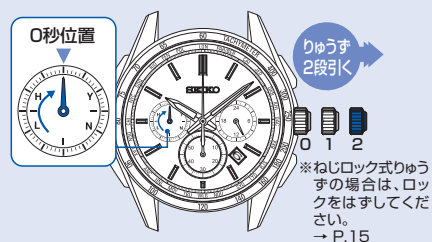
95

## 万が一、異常な動きになったとき

万が一、異常な動きになったとき、または十分な充電を行なっても 1 秒運針にならないときは、①～⑬の操作を行うことで正常に機能するようになります。

### ■ システムリセットをする（①～②）

#### ① りゅうずを 2 段引くと小秒針が 0 秒位置に停止する



#### ② ボタン C、D を同時に 3 秒押し離す

▶ 離してから 5 秒後に小秒針が 1 回転し、0 秒位置に停止します。その後、時分針が 12 時 0 分位置に向かって動きはじめます。



### ■ ストップウォッチ針を「0」に合わせる（③～⑦）

#### ③ ストップウォッチ秒針が動くまでボタン C を押す（2 秒）

▶ ストップウォッチ秒針が 1 回転し、「ストップウォッチ秒針」の基準位置合わせモードに入ります。  
※時分針が 12 時 0 分位置に停止するまで、操作はできません。



次のページに続く

困ったときは

8

96

困ったときは

8

97

困ったときは

8

98

#### ④ ボタンDを押してストップウォッチ秒針を「0秒」にする

▶ ストップウォッチ秒針を「0秒」位置に合わせてください。

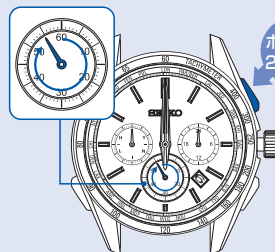
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる
微調整	断続的に押すと少しずつ進む



ボタンD

#### ⑤ ストップウォッチ分針が動くまでボタンCを押す（2秒）

▶ ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。



ボタンC  
2秒押す

#### ⑥ ボタンDを押してストップウォッチ分針を「0分」にする

▶ ストップウォッチ分針を「0分」(60分)位置に合わせてください。

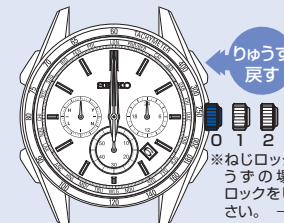
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる
1分送り	断続的に押すと1分ずつ進む



ボタンD

#### ⑦ 全ての針が「0秒」位置に停止したら、りゅうずを戻す

▶ 0時0分0秒から動きははじめます。



りゅうず  
戻す

※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをしてください。→ P.15

システムリセット後は、タイムゾーンがLON(ロンドン)になります。  
※0時0分0秒から時計が動き出さない場合は、システムリセットが作動していません。①から操作をやりなおしてください。

次のページに続く

困ったときは

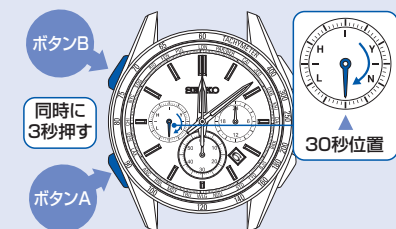
8

99

### ■ 日付を「1」（1日）に合わせる（⑧～⑨）

#### ⑧ 小秒針が30秒位置に停止するまでボタンA・Bを同時に押す（3秒）

▶ 「日付」の基準位置合わせモードに入ります。



ボタンB

同時に  
3秒押す

ボタンA



30秒位置

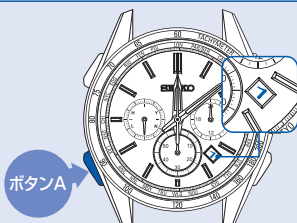
※このモードに入った後、操作をしない状態が20秒以上続くと自動的にモードが解除されます。  
操作途中の場合は⑨から操作をやりなおしてください。

#### ⑨ ボタンAを押して、日付を「1」にする

▶ 「1」の数字が、窓の中心になるように合わせてください。

※「1」が表示されている場合は、⑩の操作へ。

連続送り	2秒以上押し続けると動き、もう一度押すと止まる
微調整	断続的に押すと少しずつ進む



ボタンA

困ったときは

8

100

#### ⑩ 操作が終了したら20秒間放置する

▶ 自動的に基準位置合わせモードが終了し、小秒針が動きははじめます。

### ■ タイムゾーンを設定する（⑪～⑫）

システムリセット後は、タイムゾーンの設定がロンドン(LON)になります。  
※必要に応じてタイムゾーンの設定をしてください。

#### ⑪ ボタンAを押し続けて（3秒）ストップウォッチ秒針が動いたら離す

▶ タイムゾーン選択モードに入り、ストップウォッチ秒針が現在設定されているタイムゾーンを示します。



ボタンA  
押す（3秒）

※ボタン操作をしない状態が10秒以上続くとストップウォッチ秒針が自動的に0秒位置に戻ります。操作途中のときは、⑪から操作をやりなおしてください。  
※ストップウォッチがリセットされていないときはタイムゾーン選択モードに入りません。(ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを示しません。)ストップウォッチをリセットしてから操作をしてください。→ P.48

困ったときは

8

101

**⑫ ボタンAまたはボタンBを押して、ストップウォッチ秒針を目的地のタイムゾーンに合わせる。タイムゾーンを選択することで、電波の受信局を切り替えます。受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたらきません。**

▶ ボタンAまたはボタンBを押すとストップウォッチ秒針が移動し、タイムゾーンが変わります。ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを表します。

※サマータイム(DST)の設定をする時は、目的地のタイムゾーンから+1時間のタイムゾーンに設定してください。

日本で使うとき 中国で使うとき その他の地域で使うとき

タイムゾーン表示と時差一覧 → P.38

23秒位置に合わせます 21秒位置に合わせます

ボタンB 時計回り  
1回押す毎に1タイムゾーン動く  
ボタンA 逆回り

※ボタンは連続して押すことができます。

## 時刻を合わせる

### ⑬ 電波を受信して時刻を合わせる

強制受信のしかた → P.70

電波が受信できない環境では、  
手動で時刻・日付を合わせてください。  
手動時刻合わせのしかた → P.74  
手動日付合わせのしかた → P.76

時刻・日付を合わせたら  
操作は終了です。

## 製品仕様

- 基本機能 …… 基本時計3針(時・分・秒針)、24時計、日付表示、ストップウォッチ針(1/5秒・分)
- 水晶振動数 …… 32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
- 精度 …… 平均月差±15秒以内(電波受信による時刻修正が行なわれない場合、かつ気温5℃～35℃において腕に着けた場合)
- 作動温度範囲 …… -10℃～+60℃
- 駆動方式 …… ステップモーター式  
時分針・24時計、小秒針、日付、ストップウォッチ針(1/5秒)、ストップウォッチ針(分)
- 持続時間 …… 約6ヶ月(フル充電で、パワーセーブが作動しない場合)  
※フル充電をした状態からパワーセーブが作動した場合は最大約2年
- 電波受信機能 …… 自動受信(午前2時前、3時前、4時前)  
※受信状況によって異なる。  
※受信から次の受信までは上記クォーツの精度で動く  
※強制受信機能付
- 電子回路 …… 発振、分周、駆動、受信回路:IC 3個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>